



種名：ワタカ *Ischikauia steenackeri*

分類：国内外来種 純淡水魚(琵琶湖・淀川水系固有種)

○大きさ

- ・成魚：20～50cm

○生息箇所（すみか）

- ・利根川下流部や霞ヶ浦や関東平野に広く生息しています。
- ・ワンド・クリーク等の流れの緩いところを好みます。

○生態（どんな生活をしているか）

- ・雑食性(ざっしょくせい)で成魚は水草や藻類(そうるい)を食べます。
- ・春から初夏(6～8月)に水辺のヨシに集まり、増水後に水につかった植物(しょくぶつ)に卵を産み付けます。

○釣りや漁業

- ・ヘラブナ釣りと同じように練餌(ねりえ)を使うことが多いようです。
- ・利根川や霞ヶ浦では漁業対象にはなっていないようですが、定置網(ていちあみ)や刺し網(さしあみ)等で取れているようです。

○地域利用

- ・琵琶湖産アユやヘラブナに交じって全国に放流されてたようです。
- ・ニゴロブナのなれずしの代用として使われることがあるようですがニゴイと同様に小骨が多いため、あまり好まれないようです。